



自然教室の取り組み

6月16日(水)と17日(木)の2日間、1年生が自然教室を実施しました。昨年度は、コロナウイルス感染症の影響で未実施となりましたので、今の2年生は経験できていません。今年度も実施されるかどうか心配していましたが、「コロナ禍にあっても、できる限りの感染症対策を行った上で、様々な経験や体験の伴う教育活動は可能な限り実施する」との教育委員会の判断により、先日の修学旅行だけでなく、今回の自然教室も実施できることとなりました。



自然教室はその言葉の通り、日常生活では体験できない自然の中での体験を中心とした活動です。それだけではなく、自宅を離れて集団で宿泊することにも教育的な意義があります。多くの仲間と食事や宿泊を共にする集団行動ですので、**時間やきまりを守る**こともとても大切になります。また、全員が楽しく過ごすためには、**「他者を慮ること(思いやること)」**がとても大切になります。これらのことを、前日の事前指導の際に話しましたが、出発式の際に覚えているかと質問したところ、ちゃんと覚えていてくれた生徒が何人かいて感心しました。「自然教室」だけで



なく、毎日の学校生活や社会生活においても、「他者を慮ること」はとても大切であり、なくてはならないことです。考えや思い、状況が様々に違う人たちが、互いに気持ちよく一緒に生活していくためには、常に相手や他者のことを慮ることが必須となります。その上で協働して取り組むことで、有用に機能する組織や社会となります。ですから、こうした宿泊行事等において、他者のことを意識し、思いやることを学んでいってほしいと思います。

初日はあいにくの雨でしたので、午前中に予定していた「里山保全活動」から変更して、体育館でレクリエーションに取り組みました。山神先生の進行で「〇×ゲーム」や「無言で並び替えゲーム」「ジェスチャーゲーム」を行いました。短い時間でしたが、指示されたことに適切に反応して行動しながら、学年や学級全員で楽しむことができました。雨でも仲間との時間を有意義に過ごすことができました。



昼食も本来ならば自然の中で食べる予定でしたが、食堂で食べました。以前はなかったパーティションが設置されており、状況に合わせて適切な対応をすることが、様々なところで必要となっていることを痛感しました。

午後は、クラス単位で2つのグループに分かれて、箸づくりとスプーンづくりをしました。どちらも普段何気なく使っているものですが、いざ自分でつくるとなるとなかなか大変です。ものづくりの面白さや大変さを知るとともに、それぞれの道具がいかに機能的な形となっているかについても、知ることができました。



普段使い慣れていない刃物を使つての作業でしたが、大きな怪我もなく作業を終えることができました。何でも体験することは大切ですし、学びとなります。午前中からの予定は、少し遅れ気味となりましたが、最後にうまく時間を調整して、お風呂の時間までには、なんとか取り戻しました。限られた

時間の中で協力して後片付けや掃除をしている姿を見て、とても嬉しく思いました。

食事も入浴も、密を避けるために交代したり、人数を少なくしたりと工夫や配慮が必要でした。普段各家庭では一人でゆっくりと入浴すると思いますが、数人が一緒に15分以内に入るの、それこそ思いやりや工夫が必要です。様々な場面に応じて折り合いをつけることができるようにすることも大切です。



僅かな時間でしたが、各部屋で仲間とおしゃべりをしたりゲームをしたりして過ごすことができました。

こうした機会は、泊を伴う教育活動ならではのものです。仲間との距離が一層近くなりました。夜はキャンドルファイヤーを実施しました。幻想的な雰囲気の中で代表生徒が誓いを述べ、キャンドルの火を灯して学年全体で団結を誓い、その後のゲームも含めて、互いの存在を感じ合うとともに仲を深めることができました。



二日目、目覚めると天気が回復しており、部屋の窓からきれいな山や空を見ることができました。朝のつどいは開始時刻前に集合が完了し、その後の部屋の片づけ、朝食、館内清掃等も順調に進み、野外炊事が始まりました。

事前に練習していた火おこしは、なかなか火がつかせませんでした。何でも自分で体験することが今回の目的の一つですし、うまくいかなかった経験も大切です。しおり

を見ながら着実に作業を進める生徒、仲間に声をかけてグループをリードする生徒、先生の手伝いを進んでする生徒など、主体的に行動できる生徒が増えました。調理のメニューは、お湯で戻したアルファ米にレトルトカレー、肉と野菜をバーベキューコンロで調理したホイル焼でした。屋外で仲間と食べる昼食は格別だったようで、たくさんの笑顔が溢れていました。

二日間を通して、自然教室ならではの野外や宿泊を通した、有意義な活動ができました。